

令和6年度 高等学校10年経験者研修 実施要項

- 1 目的 教育公務員特例法第24条の規定に基づき、現職研修の一環として、個々の教諭の能力、適性等に応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教諭としての資質の向上を図る。

*この研修は、教育公務員特例法第24条「中堅教諭等資質向上研修」に相当する研修である。

- 2 対象 教職経験10年めの教諭

- 3 日時等

回	日時		主題	会場等
	1班	2班		
1	4月19日(金) ～ 5月9日(木)		開講式 研修の受講に当たって 学校の危機管理と服務規律について 防災教育について 〔講義・演習〕	オンデマンド開催
2	4月25日(木) ～ 5月9日(木)		授業づくり 組織的な授業改善の推進【理論】 －組織的な授業改善を効果的に進めるために－ 〔講義〕	オンデマンド開催
	5月15日(水) 15:00～17:00		授業づくり 組織的な授業改善の推進【理論】 －組織的な授業改善に向けての計画について－ 〔講義・演習〕	大阪府教育センター
3	4月～12月		授業づくり 組織的な授業改善の推進【実践】 〔演習〕	所属校等
4	5月22日(水) ～ 6月6日(木)		組織づくり チームビルディング【理論】 －一人ひとりの能力や強みを生かした組織づくり－ 〔講義・演習〕	オンデマンド開催
5	5月～1月		組織づくり チームビルディング【実践】 〔演習〕	所属校等
6	6月5日(水) ～ 6月27日(木)		組織づくり メンタリング【理論】 －初任期教員のキャリアを援助する存在－ 〔講義・演習〕	オンデマンド開催
7	6月～1月		組織づくり メンタリング【実践】 〔講義・演習〕	所属校等
8	6月12日(水) 14:00～17:00	6月19日(水)	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【理論】 〔講義・演習〕	大阪府教育センター
	6月～11月		授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【実践】 〔演習〕	
9	6月～11月		授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【実践】 〔演習〕	所属校等
10	7月31日(水) ～ 8月20日(火)		ともに学び、ともに育つ －支援教育のさらなる充実のために－ ロジカルシンキング －課題解決につながる考え方－ 〔講義・演習〕	オンデマンド開催

11	10月2日 (水)	10月9日 (水)	人権侵害事象の対応について 〔事例検討〕	大阪府教育センター
	15:00~17:00			
12	9月18日 (水)	10月15日 (火)	人権教育の推進について 〔講義〕	オンデマンド開催
	10月15日 (火)			
12	11月6日 (水)	11月13日 (水)	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【検証】 〔講義・協議〕	大阪府教育センター
	14:00~17:00			
13	12月4日 (水)	14:00~17:00	授業づくり 組織的な授業改善の推進【検証】 〔講義・協議〕	大阪府教育センター
	14:00~17:00			
14	1月29日 (水)	2月5日 (水)	組織づくり【検証】 研修を振り返って 閉講式 〔講義・協議〕	大阪府教育センター
	14:00~17:00			

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

※第2、11回は、集合開催、オンデマンド開催を両方とも受講すること。

4 会場 第1～8、11回 所属校等

第2、11～14回

大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
 - (4) 事前に準備しておく事項があるので、教員研修プラットフォームを必ず確認すること。
 - (5) オンデマンド開催の場合、教員研修プラットフォームに掲載する実施マニュアルを参照すること。

6 担当室 企画室

1 目的

教育公務員特例法第24条の規定に基づき、現職研修の一環として、個々の教諭の能力、適性等に応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教諭としての資質の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	準備物・事前課題
1	開講式		準備物
	研修の受講に当たって	<ul style="list-style-type: none"> 10年経験の教員に求められる役割を理解し、教職経験10年めとしての自覚と使命感を養う。 講義を通して、10年経験の教員の立場から、学校教育の現状と課題について考え、自分の学校での立場や役割について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「10年経験者研修の手引」 実施要項・シラバス
	学校の危機管理と服務規律について	<ul style="list-style-type: none"> 講義、演習を通して、学校が直面する危機や災害時の対応について理解し、ミドルリーダーに求められるリスクマネジメントとクライシスマネジメントについて考える。 服務規律等について、昨今の法令を基に認識を深め、教育公務員としての意識を高める。 講義、演習を通して、食物アレルギーと色覚特性、心肺蘇生法やAEDの使用の必要性や重要性を理解する。 	
	防災教育について	講義、演習を通して、防災教育に関する認識を深め、今後、各学校で防災教育を展開するための要点について学ぶ。	
2	授業づくり 組織的な授業改善の推進【理論】 ー組織的な授業改善を効果的に進めるためにー ー組織的な授業改善に向けての計画についてー	講義、演習を通して、組織的な授業改善の推進に向けた基本的な理念を学び、所属校における授業改善のための研究授業や協議または校内研修を企画・実践するにあたってのポイント等について理解する。	準備物 (所属校における下記のもの) <ul style="list-style-type: none"> 学校年間行事予定 学校経営計画 スクールミッション及びスクールポリシー等

			<p>・令和5年度学校教育自己診断結果</p> <p>事前課題</p> <p>5月15日の研修に、オンデマンド動画の演習で作成したワークシートを持参する</p>
3	授業づくり 組織的な授業改善の推進【実践】	所属校において研究授業や協議または校内研修の企画・実践を通して、その成果と課題を振り返り、組織的な授業改善の在り方について認識を深める。	
4	組織づくり チームビルディング【理論】 —一人ひとりの能力や強みを生かした組織づくり—	<ul style="list-style-type: none"> ・チームビルディング（組織関係づくり）の基本を学び、組織の課題解決のスキルを身に付けるとともに、自らが果たす役割を認識する。 ・講義、演習等を通して、組織マネジメントや人材育成についての知識を身に付ける。 	
5	組織づくり チームビルディング【実践】	<ul style="list-style-type: none"> ・講義、演習を通して学んだことを生かし、所属校の校務等でチーム内の自分の役割を意識して実践する。 ・チームビルディングを意識した所属校での実践をレポートにまとめることを通して、自らの取組みを振り返り、自分の果たした役割について考察する。 	
6	組織づくり メンタリング【理論】 —初任期教員のキャリアを援助する存在—	<ul style="list-style-type: none"> ・講義、演習を通して、先輩教員としての自覚を高め、メンタリングの考え方や進め方について学ぶ。 ・メンターとメンティとの人間関係で繰り広げられる人材育成の手法に触れ、OJTの活性化の担い手として、自らが果たす役割を理解する。 	<p>準備物</p> <p>「メンタリング・ハンドブック」</p>
7	組織づくり メンタリング【実践】	<ul style="list-style-type: none"> ・講義、演習で学んだことを生かし、初任期教員の支援につながる取組みを所属校等で実践する。 ・所属校の実態に合わせて自身の取組みをすすめ、改善等を加えながら成果や課題を整理する。 	
8	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【理論】	講義、演習を通して、「指導と評価の一体化」の必要性やICTの効果的な活用方法等について学び、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法と評価方法について理解する。	
9	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【実践】	単元を見通した指導方法や評価方法等の企画・実践を通して、その成果と課題を振り返り、「主体的・対話的で深い学び」の実現について認識を深める。	

10	ともに学び、ともに育つ －支援教育のさらなる充実のために－	講義を通して、大阪府における支援教育の現状と課題について認識を深め、共生社会にむけた支援教育の推進について理解する。	
	ロジカルシンキング －課題解決につながる考え方－	講義、演習を通して、論理的な思考（ロジカルシンキング）について具体的事例を踏まえながら認識を深め、課題解決や提案のスキルを身に付ける。	
11	人権侵害事象の対応について	人権侵害事象に関わる事例検討を通して、人権侵害事象の分析及び対応について学ぶ。	
	人権教育の推進について	講義を通して、人権教育に関する法律や条例、調査結果等から、大阪府における人権教育の現状と課題について認識を深め、教育活動全般を通じて人権教育を推進していくことを理解する。	
12	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【検証】	<ul style="list-style-type: none"> ・協議、演習を通して、授業実践の内容を共有・検証し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について理解する。 ・協議・演習を通して、自身の実践に関する成果と課題を振り返り、今後の具体的な授業改善につながる実践力を身につける。 	準備物 実践レポート、学習指導案実践に関する資料
13	授業づくり 組織的な授業改善の推進【検証】	<ul style="list-style-type: none"> ・協議、演習を通して、所属校における実践内容を共有・検証し、組織的な授業改善の工夫について理解する。 ・協議・演習を通して、自身の実践に関する成果と課題を振り返り、今後の組織的な授業改善につながる実践力を身につける。 	準備物 実践レポート、校内研修資料等
14	組織づくり【検証】	<ul style="list-style-type: none"> ・所属校での実践を基にした研究協議を通して、「メンタリング」、「チームビルディング」を意識した各校での取組みを共有する。 ・自らの取組みの成果と課題及び協議を踏まえて、次年度に向けてミドルリーダーとしての具体的な取組み内容について考える。 	準備物 実践レポート
	研修を振り返って	講義を通して、この1年間の研修を振り返り、今後の教員としての在り方、心構えについて考えるとともに、使命感を高める。	
	閉講式		

4 OSAKA 教職スタンダードとの関わり

求められる資質・能力		第2期	研修回
		第3期	
I	1 人権尊重の精神	学校の人権教育推進のために行動できる	1、10、11
		学校の人権教育及び地域啓発を企画・推進し、教職員を指導できる	1、10、11
	2 危機管理能力	学校安全のために組織的な行動ができる	1
		学校における危機管理体制を点検し、改善できる	1
	3 学び続ける力	幅広い専門性を高めることができる	1
		最新情報を収集し、実践を発信できる	1
II	4 課題解決能力	学年〔学校〕の課題を把握し、解決に向けて行動できる	1～3、10、11、13
		学校の課題を把握し、解決に向けて行動できる	1～3、10、11、13
	5 法令遵守の態度	法令への深い理解を持っている	1
		法令遵守の精神を教職員に助言できる	1
	6 事務能力	効率的に処理ができる	1
		他の教職員と協力し効率的に処理できる	1
III	7 協働して取り組むことができる力	チーム力を高めることができる	1～9、13、14
		組織力を高めることができる	1～9、13、14
	8 ネットワークを構築する力	課題を解決するためのネットワークを構築できる	1～9、13、14
		組織力を高めるためのネットワークを構築できる	1～9、13、14
	9 マネジメントする力	学校教育目標に基づき、学級経営等を行うことができる	1、4～9、14
		学校教育目標に基づき、学校の計画を作成・実行できる	1～9、13、14
IV	10 授業を構想する力	創意工夫をした学習指導案を作成することができる	8、9、12
		他の教員に授業の構想について助言ができる	8、9、12
	11 授業を展開する力	子どもの実態に応じた授業展開ができる	8、9、12
		授業展開について助言ができる	8、9、12
	12 授業を評価する力	授業改善を推進する	8、9、12
		授業評価力を身に付けている	8、9、12
V	13 子どもを理解し、一人ひとりを指導する力	子どもどうしのコミュニケーションを促進できる	10、11
		子ども対応のロールモデルとなる	10、11
	14 子どもの集団づくりを指導できる力	組織的な対応の中心となることができる	10、11
		組織的な指導体制を機能させることができる	10、11
	15 子どもを集団づくりの中でエンパワーできる指導力	学年全体の実態把握ができる	10、11
		学校全体の実態把握ができる	10、11